

鳥居龍蔵、 北京西方の石窟を探る



石仏の近景



石仏と鳥居龍蔵（石窟寺内部）



1939(昭和14)年、中国の華北・内モンゴルで調査を行っていた鳥居龍蔵は、河北省張家口市下花園で埋没した石窟寺が発見されたことを知り、5月20日～25日にかけて予備調査を行いました。さらに、同年10月3日～11月6日の約1ヶ月間、当時勤めていた燕京大学から派遣されて、発掘調査を行いました。その結果、石窟寺は北魏(386-534)の時代に造られたこと、本尊仏や壁面に彫られた菩薩像や文様などの保存状態が極めて良好であることなどが明らかになりました。

今回の展示では、龍蔵らの発掘調査の様子や石窟寺内の写真を初公開するとともに、鳥居の調査成果を紹介します。

2022

4.5 火 ▶ 7.10 日

● 展示場所

徳島県立鳥居龍蔵記念博物館 常設展示室 第2展示室内

● 開館時間

9:30～17:00

● 休館日

毎週月曜日

● 観覧料

通常の常設展観覧料（一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円）

※祝日無料 ※各種減免あり



石窟寺近景